

所報



特集 校内研修の活性化による学校経営改善

巻頭言

授業研究に関する校内研修の活性化による学校経営改善

広島大学 准教授 曾余田 浩史



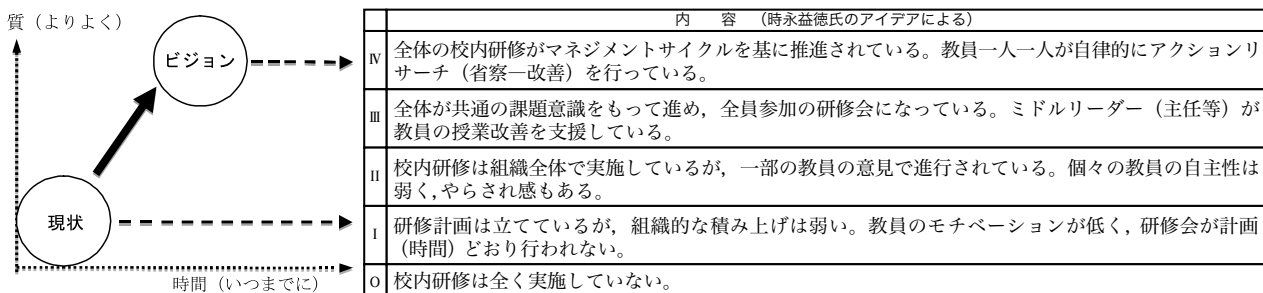
あなたの学校の校内研修の活性化についてお尋ねします。現状は活性化していますか？来年度はどの程度の活性化を目指しますか？そもそも、目指す活性化のイメージはどんなものですか？

経営（マネジメント）の基本精神は、昨年度よりも今年度、今年度よりも来年度へと、昨日よりも今日、今日よりも明日へと、現状をよりよいものに変えること、現状からビジョンへと坂道を登ることです。**ビジョン**とは、自分たちが生み出そうと目指している校内研修の未来の姿です。校内研修の活性化の姿について、現状を把握する視点がなければ、そしてビジョンの具体的なイメージがなければ、適切な手立てや工夫はできません。

表は、校内研修の活性化の現状とビジョンを見取するためにその成熟度を示した物差しの一例です。

あなたの学校の現状はどのレベルですか？来年度はどのレベルまで目指しますか？付箋紙を用いたワークショップは、レベルⅡからⅢへと上げるには有効な手立てでしょう。でも、レベルⅣへ上げるには新たな手立ても必要です。レベルⅣでは、学校経営目標（たとえば児童生徒の学力向上）の達成に向けて学校全体としての課題を把握（Research）し、その改善策を考え（Plan）、実際にその改善策を行い（Do）、その結果を評価する（Check→Action）というサイクルができています。その動きと連動して、教員一人一人も自らの授業の課題を把握（Research）し、P→D→C→Aを営む授業改善力をつけていきます。

この表はあくまでも一例です。**学校独自の物差し**をみんなで話し合ってみてはいかがでしょうか。



○ 特集 校内研修の活性化による学校経営改善

も
く
じ

巻頭言	P1
実践紹介 教育センターの研究協力校 狩小川小学校	P2
教育センターの研究協力校 五日市南中学校	P3
○教育研究の紹介 ひろしま型カリキュラム導入に係る研究ほか	P4,5
○教育センターひろば	P6

特集 校内研修の活性化による学校経営改善

平成21年度教育センター「道徳の指導計画と授業の在り方に関する研究」研究協力校

狩小川小学校の実践

高野 和博 校長

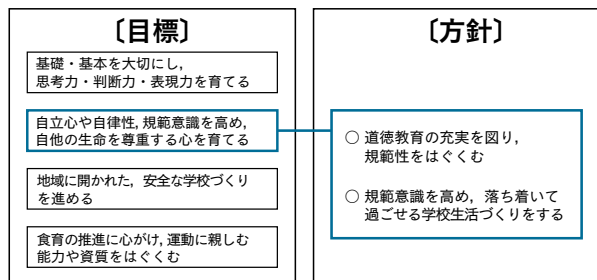
1 私の描く、目指す学校像

本市で開発してきた「規範性をはぐくむための教材・活動プログラム」を活用し、**集団生活上のマナーを身に付けた児童の育成**を目指しています。そのために、計画的に校内の研修を積み重ね、生活に密着した道徳教育ができるよう工夫しています。

2 授業研究に関する校内研修で目指すもの

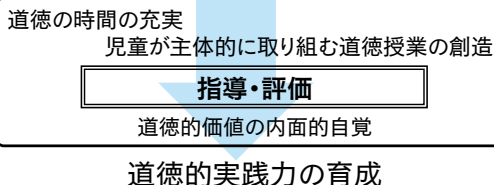
校内研修では、道徳の時間と各教科・他の領域との関連を明確にし、児童に自分の生活と道徳的価値を関連付けながら考えさせることによって、児童が道徳的価値を自分のこととして捉えやすくなるようにする研究を進めています。同じ理論に基づいてお互いの授業を比較、協議することを通じて教師一人一人の授業力を高めることにより、児童が本音で語れる道徳の時間の実現を目指しています。

- 学校教育目標
確かな力（学力、体力、生活力）、豊かな心を持ち、自立する子どもを育てる
- 目指す学校像（ビジョン）
活力ある学校 安全、安心、安楽な学校 信頼される学校
- 学校経営目標、方針



学校経営方針の具体化のイメージ図

道徳教育の充実を図り、規範性をはぐくむ
指導技術の向上 支持的風土の学級づくり 児童の多様な生活体験
各教科と他の領域との関連の充実



校内研修推進者 鳴戸 由江 教諭

◆ 目指す学校像の実現に向けた授業研究に関する校内研修の実際と活性化に向けた工夫

- 校内理論研修会
 - ・「規範性をはぐくむための教材・活動プログラム」の効果を検証するために大学の教官を招き、教員の意識統一を図りました。
 - ・実効性のある道徳教育全体計画とその別葉の作成について教員の共通理解を図る研修を実施しました。
- 校内授業研究会
 - ・総合単元的な道徳学習を組み、児童の意識の流れを明確にするよう学習指導案の形式を統一し、全学級で公開授業を行いました。
 - ・道徳の時間の学習後に児童が書いた振り返りシートの効果的な活用方法について話し合いました。
 - ・全学級に「道徳コーナー」を設け、道徳の時間に学習したことを日々の教育活動へとつなげました。
 - ・研究授業を観察しながら参考になった点、疑問や課題が残った点について付箋紙に書き出し、それらをもとに協議会を充実させました。(下図)

	参考になった点	疑問や課題が残った点
※	ほとんどの子どもが、自分の考えや思いをたいくぶん発表していたこと。 資料の絵を見て「気がついたことどうぞ」という発問は、いろいろな見方を引き出すのに有効だった。 「性別していることを知っているのに、ゆずっていない」という意見は、学級の主題にできる鋭い考えだと思える。取り上げて子どもから導きださっていい?	困っている人を三人に限定したのはどうして? 他にもいるように思いますが。 中心発問の時間が

協議会で用いた付箋紙

吉田 祐記 教諭

◆ 日々の実践の中で、授業研究に関する校内研修の成果だと感じること

校内研修で、道徳の時間の教材研究の大切さが分かり、自分の見方や考え方が広がりました。実際の道徳の時間では、日々の教育活動へとつなげる道筋を考えておくことで本時のねらいが明確になり、児童にとって楽しく分かりやすい授業づくりができるようになりました。

特集 校内研修の活性化による学校経営改善

平成20・21年度教育センターサテライト研修 実施校
平成21年度教育センター「ひろしま型カリキュラム導入に係る研究」研究協力校

五日市南中学校の実践

本多 雅一 校長

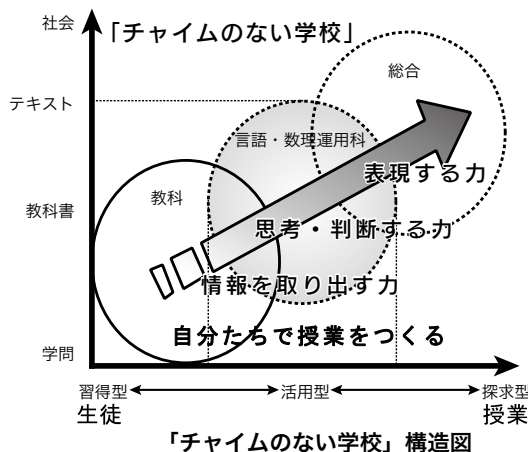
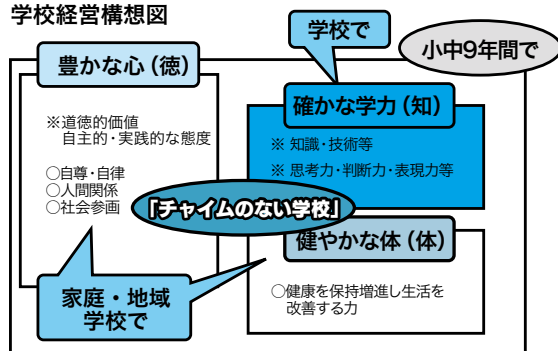
1 私の描く、目指す学校像

生徒の探究する姿勢を大切にする「チャイムのない学校」を目指しています。義務教育9年間でつくれる力を明確にし、学ぶことと生きることの二つが一つになる生徒の育成を目指します。その中で「自分たちが授業をつくるのだ」と意識する気持ちを育て、高めています。特に、教科の横断的な学習の中で思考力や活用力を育てると同時に、卒業後も世の中で役立つ、探究をしていく姿勢を、ひろしま型カリキュラムの言語・数理運用科を通して育てていきます。

2 授業研究に関する校内研修で目指すもの

言語・数理運用科は教科の壁を越え、全教員が同じ土俵に立って授業研究ができます。本校では、「目標と指導と評価の一体化」をキーワードにした授業研究を通して、言語・数理運用科で目指す義務教育が修了する15歳の生徒の姿を、全教員が共有することを目標としました。

学校経営構想図



校内研修推進者 柴田 幸恵 教諭

◆ 目指す学校像の実現に向けた授業研究に関する校内研修の実際と活性化に向けた工夫

- 校内研修の実際
 - ・理論研修 ・授業研究 ・模擬授業
- 協議会活性化のための工夫
 - ・事前に全教員に研修の目的や研修会の流れ、授業観察の視点について説明を行い、意識統一を行いました。
 - ・全員発言のために、「学習指導案」「評価規準」「成果と課題」「一人一人へのコメント」など協議会の目的にあった表と付箋紙を用い、ワークショップ型の協議会にしました。
 - ・見取る生徒を焦点化し、集中して見取ることができるように事前に見取る生徒の分担表を作成し、生徒の様子を個人カードに記録しました。
 - ・単元を通しての生徒の状況を把握するため、学習状況を記入した座席表を作成しました。
 - ・授業研究の成果を生徒にもフィードバックするために、観察した生徒に、「ほめ・励ますコメント」を書いて渡すようにしました。(下図)
 - ・授業改善の行動化と日常化を目指して、「明日からの授業で取り組みたいこと」を発表し、聞き合うようにしました。

資料を見直してから、落ちついてじっくり考えたいですね。
「人の役に立つ」と建物も考えられているという点、その思いがたもよかったです。ありがとうございます。
広島市役所の思い、原爆ドームより戻り止めのためのこのように考えたらよかったと思います。
せんせい

原爆ドームが投下される前は、ちゃんと建物として役に立っていたけど、爆弾が落とされた事で、もう中に入れない状態になって、人の役に立なくなったから、「元の姿に戻りたい」というセリフを言いたかったと思います。
広島市役所は、きっと今でも原爆ドームに感謝の気持ちがあると思うから、ドームは元の姿に戻りたいって、いいことだと思います。

教師の「ほめ・励ますコメント」と生徒のワークシート

長井 泰子 教諭

◆ 日々の実践の中で、授業研究に関する校内研修の成果だと感じること

研修会後、小学校との連携を意識した授業づくりについて、より具体的に取り組むようになりました。生徒一人一人に目標を達成するための評価をすることなど、「目標と指導と評価の一体化」を意識した授業づくりをするようになりました。

教 育

平成21年度は、7つの研究に取り組んでいます。

各研究ごとに、その研究の概要と活用方法の一部を紹介します。

ぜひ、活用していただき、ご意見・ご感想をお聞かせください。

ひろしま型カリキュラム導入に係る研究

担当 主任指導主事(専)主任 藤村 和彦
指導主事 堂鼻 康晴
指導主事 浜田 龍治

言語・数理運用科に関する校内研修会充実のためのパンフレットを作成しました。

言語・数理運用科に関する校内研修会のもち方について、「ねらいの明確化」、「見取りの交流」、「見取りの分析」をキーワードに、研究協力校での実践で積み重ねたノウハウ等を盛り込んで、解説しています。

言語・数理運用科に関する 校内研修会充実のためのミニガイド



広島市教育センター

つながる協議会への工夫

～ 校内研修会充実のために ～



広島市教育センター

人材育成を促す校内研修の在り方に関する研究

— 教師の行動変容プロセスを位置付けた協議会マネジメントを目指して —

担当 主任指導主事 島本 圭子
指導主事 正原 直行
指導主事 清水 剛

人材育成を促すには様々なアプローチが考えられます。本研究は校内研修会（特に授業協議会の在り方）に着目し進めてきました。研究のコンセプトは、「意識化」、「見える化」、「行動化」の3点です。研究授業の後に必然的に実施されている授業協議会ですが、その機能や効果を上げるためのポイント等について、パンフレットにまとめました。

●●●●● 広島市教育センター ●●●●●

道徳教育の全体計画作成の手引き

豊かな心の育成のために、道徳教育の充実が求められています。
 自校の道徳教育の基本的な方針、重点目標、それを達成するための
 方策を総合的に示した全体計画を作成しましょう。

① 道徳教育の全体計画の意義は

- 各学校の特色や実態及び課題に即した道徳教育が展開できます。
- 各学校における道徳教育の重点目標を明確にして取り組むことができます。
- 道徳教育の要である道徳の時間の位置付けや役割が明確になります。
- 全教師による一貫性のある道徳教育が組織的に展開できます。
- 家庭や地域社会との連携を深め、積極的な参加や協力を得ることができます。

② 全体計画作成のポイントは

全体計画は、日々の教育実践に生きて働くものとなるように、全教師が創意工夫をして作成することが大切です。

研究協力校が全体計画を作成していく過程で見えてきたポイントは？

POINT 1 **子どもの実態や学校の実態に応じたものにしましょう。** ▶▶▶ P2,3 へ

自校の子どもの道徳性などの実態を具体的に把握する必要があります。
 そのためには、日々の生活の中で生きている子どもの様子について、ひとつひとつの道徳の内容
 に照らしながら全教師が見つけ出し、互いに語り合うことが大切です。

POINT 2 **教育活動(体験活動等)と道徳の内容との関連を回らしましょう。** ▶▶▶ P3,5 へ

教育活動(体験活動等)と道徳の時間との関連だけでなく、道徳の内容について教育活動相互の
 関連を図ることが大切です。そのためには、教師自身が、道徳の時間の特徴と道徳の内容につ
 いて理解を深める必要があります。また、道徳の内容と教育活動との関連を構造的にだけでなく、
 具体的に構築する工夫をしましょう。

POINT 3 **全教師が参画し力を発揮できるように推進体制を充実しましょう。** ▶▶▶ P4 へ

全教師が積極的に協力して、指導できる体制を充実する必要があります。推進体制の中心となる
 道徳教育推進教師の役割を明確にしておくことが大切です。

③ 次のポイントにも留意しながら作成しましょう。

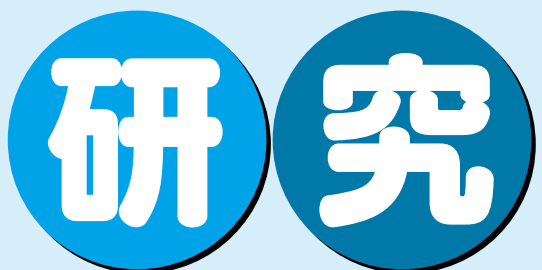
- 各学校の特色を生かして重点的な道徳教育が展開できるようにしましょう。
- 家庭や地域社会、近隣の保育園や幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校、関係諸機関、企業などとの連携を心掛けましょう。
- 計画の実施及び評価・改善のための体制をつくりましょう。

道徳の指導計画と授業の在り方に関する研究

担当 指導主事 嵐森 裕暢

道徳の指導計画の意義、道徳の時間の在り方、自校の子どもの生活や道徳性などについて校内研修を行うなどして理解を深めた上で、全体計画(自校の道徳教育の重点目標を達成するための方策を総合的に示した教育計画)を作成し、実践していくことにより、道徳教育が充実します。

研究協力校において作成された道徳教育の**全体計画の特徴と作成のポイント**を明らかにして、パンフレットで紹介しています。



指定都市教育研究所連盟第16次共同研究に関する研究 ―指定都市の子どもたちの姿や思いを探る―

担当 指導主事 土井 延久

全国の大都市の子どもたちの学校・家庭・地域社会における実態や意識を継続的に調査し、分析しています。調査データは内部Web ページに公開しています。

教育研究を進めるにあたり、アンケート調査を行って**自校の子どもたちの実態や意識**をデータと比較・分析したり、データを校内研修の資料に活用したりしてみてはいかがでしょうか。

個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成と活用の支援に関する研究

担当 指導主事 戸田 美鈴

本研究では、まず教師自身が、子どもの言動の背景をさまざまな視点から考え、そこから支援・指導の計画を立て、実行・改善するというPDCA サイクルを身につけることが大切だと考えています。

そこで、**日常の学級経営にも活用できる指導計画のシートや計画を立てる際のヒントとなる支援ソフト**を作成中です。

教職経験3年次までの教員を対象とした研修の在り方に関する調査研究

担当 指導主事 高田 尚志

「子どもの気持ちが分かる先生」「授業がうまい先生」「子どもに信頼される先生」…今年度採用された先生方が抱いている理想像です。

理想像に向かって日々研鑽を積まれる**若手教員のキャリアプランの実現を支援**するために、若手教員を対象とした研修で身に付けるべき力を文献研究やアンケート調査等によって明らかにします。そして、これからの校内・校外での研修の在り方について、今後、提案していく予定です。

教育用コンテンツの開発・活用に関する研究

担当 主任指導主事(専)主任 住吉 磨
 指導主事 野上 真二

小学校理科と体育科のコンテンツを作成しました。理科は第3学年の「あたたかさ」と太陽の光」について、体育科は「器械運動」について、指導する際の困り感を改善するための場づくりや用具に焦点を当てています。

実験を行う際の手順や技を指導する際のポイントを確認することができます。詳しくは内部Web ページをご覧ください。

(内部 Web ページ <http://192.168.9.12/>)

教育センターひろば

本年度も教育センターは、学校運営推進リーダー育成研修、教育活動推進リーダー育成研修等の新規研修を含む各種研修講座及びサテライト研修や土曜開館・平日の開館時間延長など、先生方の指導力・授業力の向上に資するべく取り組んできました。

本年度のまとめとして、実施3年目を終えるサテライト研修を紹介します。サテライト研修では、本市の授業研究の活性化を目指し、各学校のニーズに応じた支援を行いました。

授業研究活性化のポイント

- 目指す授業づくりの視点の明確化
- 子どもの姿の具体的な見取り
- 協議会での活発な話し合い
- 研究主題に迫る話し合い
- 校内授業研究で学んだことの実践化
- 協議会以外での授業について話し合う場

サテライト研修の実施校

学 校	
舟入小学校	大林小学校
牛田新町小学校	阿戸小学校
牛田小学校	八幡東小学校
早稲田小学校	五日市観音西小学校
段原小学校	二葉中学校
翠町小学校	口田中学校
宇品小学校	瀬野川中学校
天満小学校	矢野中学校
庚午小学校	五日市南中学校
高須小学校	広島特別支援学校

計20校

研修実施校への事後アンケートより

サテライト研修で実感できたこと

▶校内研修推進者より

- 「付箋紙法などによって協議会を自分たちで進めていけるようになりました。」
- 「教材研究の大切さを実感することができました。」
- 「明日から取り入れてみたいことを授業参観や協議会から学びとろうという姿勢が見られるようになりました。」
- 「全教員で協働し、組織的に研修に取り組むことができました。教員が自己の目標を設定し、主体的に授業に取り組むことができるようになったと感じています。」

▶校長先生より

- 「受け身の研修ではなく、自分から進んで取り組む研修になりました。」
- 「授業に対する意識が高まり、職員室で授業や児童の様子の話題が増え、授業づくりについて学年全員で意見交流をするようになりました。」
- 「何より授業改善を図ることにより、子どもたちが落ち着いて学習に臨んでいます。教員が研修を通して本校の研修スタイルを理解し始め、自分の授業のどこを改善すればよいかと考えるようになりました。」

授業研究を通して実際に感じられたこと・新たに気付かれたこと・振り返って見直されたこと等が授業改善のきっかけとなり、先生方の指導力・授業力の向上につながっていくのではないのでしょうか。教育センターでは、このような授業改善のきっかけをつかむことができる場や機会の提供に取り組んでいきます。

編集後記

本年度の最終号をお届けします。
今回の特集は、授業研究に関する校内研修の活性化による学校経営改善です。教育センターでは、教育研究の研究成果をパンフレットや研修での紹介、活用という形で普及を図っています。ぜひ、ご意見・ご感想をお寄せください。

編集・発行／広島市教育センター

〒732-0068 広島市東区牛田新町一丁目17番1号
TEL(082)223-3563 FAX(082)223-3580

E-mail: center@edu.city.hiroshima.jp

外部 Web ページ: <http://www.center.edu.city.hiroshima.jp/>

内部 Web ページ: <http://192.168.9.12/>

題 字:大州小学校校長 長谷 哲郎 表紙絵:観音中学校教諭 川崎 裕生 広X6-2009-160(3) 再生紙を使用しています。